

松山大学人文学部創設 50 周年記念講演会 「松山大学人文学部のこれまで・これから」

松山大学人文学部は今年、創設 50 周年を迎えました。これを記念しまして、松山大学人文学部のこれまでの歩みをふり振り返り、学部の将来を考える機会を持ちたいと考えております。卒業生を含め、人文学部に関わってこられた皆様にも広くご参加いただければ幸いです。

日時・場所:

2024 年 12 月 21 日(土曜日)13:00～15:30 松山大学文京キャンパス8号館 820 教室

第1部 13:00～14:00

シンポジウム「松山大学人文学部のこれまで・これから」

岡山勇一名誉教授・山田富秋名誉教授（司会：小松洋教授）

人文学部開設から大きな貢献された岡山勇一名誉教授(英語英米文学科)と山田富秋名誉教授(社会学科)にご登壇いただき、社会学科と英語英米文学科のこれまでとこれからについてお聞きます。

第2部 14:10～15:30

講演「地域を見つめ、その思いを表現する—地域文化発信の可能性」

杉田このみ氏(専修大学准教授・映像作家)

愛媛を舞台とした映像作品を発表されてきた映像作家・杉田このみ氏に、愛媛の魅力と地域からの発信の可能性についてお話しいたします。また、大学での教育実践から、学生主導によるプロジェクト作成の実例についてもご紹介いたします。

杉田このみ氏 プロフィール

映像作家。愛媛県松山市に生まれ育つ。1998 年に武蔵野美術大学映像学科進学のため上京。2000 年より故郷である愛媛を舞台にした映画の自主制作を続けている。また、2014 年 9 月より千葉商科大学政策情報学部助教として映像表現についての教育と研究を行う。2019 年より、専修大学ネットワーク情報学部講師、2022 年より現職。

代表作に睦月島を舞台にした映画『こぎいでな』(2003 年、60 分)、愛南町を舞台にした『日-hitsuki-月』(2007 年、60 分)、大正時代の俳人・富田木歩の生涯を描いた朗読ドラマ『ふと、木歩という名をおもう』(2008 年、25 分)、2011 年から睦月島を舞台にしたアートプロジェクト『今日、この島に私がいます』に取り組む。著書に、『アクション！ 地域を変える 8 人との対話』(単著、アトラス出版、2015 年)。



会終了後、松山大学樋又キャンパス1F のレストラン「ル・ルパ」にて、軽食をとりながらの懇親会を開きます。参加ご希望の方は会場前の受付にて参加ご希望をお伝えください。

連絡：湊圭史(人文学部英語英米文学科) kminato@g.matsuyama-u.ac.jp